

# 平成 27 年度 公益財団法人ホシザキグリーン財団 事業報告

(自：平成 27 年 4 月 1 日 至：平成 28 年 3 月 31 日)

## 【概要】

人と自然の調和した自然環境の保全に資することを目的とし、野生動植物の保護繁殖に関する各事業に取り組んだ。実施した主な事業は次のとおりである。

## I. 事業部門

### 1. 野生生物研究所事業 (定款第 4 条 第 1 項 第 1、3、5 号該当事業)

- (1) 調査研究・情報収集発信事業を中心に、宍道湖グリーンパークやふるさと尺の内公園の環境整備の検討のほか、各種の普及啓発活動も含めた財団の幅広い事業を支えるべく運営を行った。
- (2) 調査研究や普及啓発事業に必要な資料(文献・標本等)の収集・保存、それらを活用するための整理など活動基盤を維持する拠点として運営を行った。
- (3) 標本室と図書室の温度や湿度などを管理した。
- (4) 調査研究や普及啓発、環境整備に必要な機器・備品(電子顕微鏡・真空凍結乾燥機・クリーンベンチ、オートクレーブ・輸転機・軽トラックなど)を導入した。
- (5) 野生生物研究所の実習室を、団体対応や観察会などの室内プログラムの実施場所の一つとして運用した(年間 52 件、のべ 4,504 人)。

### 2. 宍道湖グリーンパーク事業 (定款第 4 条 第 1 項 第 2、3 号該当事業)

- (1) ビオトープならびに公園施設として宍道湖グリーンパークおよびビオトープ池の適切な管理を行った。
- (2) 園内の案内板・解説板の板面や配置を見直し、再整備するとともに、ビオトープ池に新たに案内板を設置した。
- (3) 園内バードサンクチュアリの水場周りに、さらに野鳥が飛来しやすいように除草・耕耘などの手入れを行った。
- (4) 園内(バードサンクチュアリの水場やカワセミ池)やビオトープ池をモニターする屋外映像カメラを設置した。
- (5) 園内のゾーニングプランに基づき、各ゾーンの維持管理を行った。
- (6) 野鳥観察舎や園内に鳥類や昆虫類、植物などの解説を掲示し、フィールド情報を時節にあわせて更新するなどの掲示物の管理を行った。
- (7) 野鳥観察舎において、双眼鏡の貸し出しやキッズコーナー設置などのサービスを継続した。
- (8) 野鳥観察舎の常設の展示ケースにおいて、企画展等の展示の切り替えや時節にあわせて鳥類の剥製等の展示を行った。
- (9) ペンギンミュージアム(約 2,000 点のペンギングッズを展示)の管理を行った。

- (10) 園内の維持管理は昆虫や野鳥など野生動植物の生息に配慮して実施し、除草・剪定作業による発生材の一部は小動物のすみかとするべく、木積や腐葉土として堆積して利用した。
- (11) グリーンパーク北側のビオトープ池において、平成 26 年度に整理した改修案に基づいて水位調節機能を向上させる整備（堰構造の改修、中池の地盤高調節）を実施した。
- (12) ビオトープ池を観察できる展望デッキを島根県立宍道湖自然館の敷地内に適正な手続きを経て設置した。
- (13) ビオトープ池では、希少な植物であるタコノアシの生息環境を維持管理し、渡り鳥の飛来時期に合わせて水位調節を行った。
- (14) 白鳥の採食場として、グリーンパーク周辺農地約 10ha に地権者の協力を得て水を張り、飛来環境の整備を実施した。
- (15) 野鳥観察舎等で年間 52,087 人の利用者があった（開園より 439,962 人）。
- (16) 団体等の利用申し込みは 82 件（のべ 2,683 人）であり、そのうち野鳥観察などのプログラムやレクチャーを伴う体験活動は年間 43 件（のべ 1,555 人）、施設の見学などの利用が 39 件（のべ 1,128 人）であった。

### 3. ふるさと尺の内公園事業（定款第 4 条 第 1 項 第 2、3 号該当事業）

- (1) ビオトープならびに公園施設として尺の内公園の適切な管理を行った。
- (2) 平成 26 年度から進めている園内整備にさらなる魅力を追加するべく、ランドスケープデザイナーのポール・スミザー氏の監修に基づいて環境整備（主として植栽エリアの再整備とこれに伴う園路の追加工事、小径路の整理、樹木の剪定・伐採、立ち入り制限・禁止区域の明確化のための石組み・ロープ柵の追加など）を実施した。
- (3) モリアオガエルが産卵したことがある池の周囲にザリガニ侵入防止柵を設置した。
- (4) 国道沿いの樹木について、安全管理のため生長や状態に応じて剪定、伐採した。
- (5) 園内の人工池を活用してオニバスの系統保護のための試験やモニタリング等を継続した。
- (6) 生物の多様な生息空間を確保するため、乾燥裸地のビオトープとする隣接地を取得し、地盤調査を実施した。
- (7) 公園に隣接する丘陵地に植栽したクヌギや草地環境を維持するための草刈りを行った。
- (8) 丘陵地を里山林として維持するために管理道の草刈りや雑木林の小径木伐採などの手入れを行った。

### 4. 調査研究事業（定款第 4 条 第 1 項 第 1、2 号該当事業）

- (1) 職員による自主研究を次の課題で取り組んだ。

〈鳥類研究〉

- ① 鳥類の環境利用特性の研究
- ② マガン・ヒシクイ・コハクチョウの日周行動特性の研究
- ③ 特定鳥類の生息状況調査（しまねレッドデータブック掲載種、県内繁殖情報不足種、注目種等）

- ④ 鳥類生息情報の集積
- ⑤ 尺の内公園の鳥類調査
- ⑥ グリーンパーク周辺の鳥類定量カウント調査
- ⑦ 白鳥の採食場の利用状況モニタリング
- ⑧ ビオトープ池の鳥類調査

〈昆虫類研究〉

- ① ネクイハムシ亜科の進化生物学的研究
- ② 日本産水生甲虫類の分類学的研究
- ③ 島根県の水生昆虫類の保全生物学的研究
- ④ 山陰の海岸に生息する昆虫類や節足動物に関する研究
- ⑤ 隠岐諸島における昆虫類の生態学的研究（共同研究）
- ⑥ 中国地方の湿岩昆虫相の解明（共同研究）
- ⑦ 島根県産昆虫目録作成のための基礎調査
- ⑧ グリーンパーク昆虫類調査
- ⑨ 尺の内公園の昆虫類調査

〈植物研究〉

- ① 島根県産植物の調査ならびに染色体観察
- ② 特定植物種の産地や形態に関する調査と染色体観察
- ③ 特定植物種の分類学的研究
- ④ オニバスの保護増殖に係る生育調査
- ⑤ 尺の内公園の植物調査（植物相、植生図作成）
- ⑥ 絶滅危惧植物の生育環境に関する実験調査

〈その他〉

- ① 島根県の淡水・汽水生物の調査
- ② ビオトープ池の生物調査

(2) 共同研究として「隠岐諸島における昆虫類の生態学的研究」「中国地方の湿岩昆虫相の解明」の2課題を実施した。

(3) 委託研究として「島根県内の希少トンボ調査」「中国地方の陸生ミミズ相調査」など9課題を委託して実施した。

(3) 宍道湖・中海や宍道湖の十四間川河口、雲南市の沢池において環境修復プロジェクトを推進し、各種の取り組みをはじめ生物や環境調査などを行った。

(4) 6名の客員研究員を委嘱して研究体制を強化した。

(5) 財団の研究報告書や環境修復プロジェクト報告書をはじめ、他団体発行誌に44題の研究論文や短報を発表した。

(6) 学会や研修会等で11題の発表を行った。

(7) 「ホシザキグリーン財団研究報告 第19号」を発行した（論文36題、短報10題；298頁）。

(8) 「ホシザキグリーン財団研究報告 特別号」を発行した。

・第15号 山陰地方産水生昆虫図鑑 I 甲虫類(1) (98頁)

- ・第 16 号 山陰地方産水生昆虫図鑑Ⅱ甲虫類(2) (104 頁)
  - ・第 17 号 隠岐諸島産水生昆虫目録(1930-2015) (98 頁)
- (9) 「平成 27 年度ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト報告書」を発行した(論文 5 題、記録 1 題、報告 1 題 ; 103 頁)。

## 5. 普及啓発事業 (定款第 4 条 第 1 項 第 4 号該当事業)

- (1) 宍道湖グリーンパークで以下の企画を実施した。
- ・ 定例自然観察会 (12 回 ; 毎月 1 回)
  - ・ 大型連休 (ゴールデンウィーク 5/2-6) のイベントとして日替わり工作 (5 日間)
  - ・ 捕虫網の貸し出し (6/6-11/1)
  - ・ 開園記念日先着プレゼント (オリジナルバンダナ) 企画 (6/6, 7)
  - ・ マガンとコハクチョウの初渡来日予想(オリジナル・ノートプレゼント)企画 (8/17-10/5)
  - ・ 宍道湖グリーンパークで来年のカレンダーを作ろう (11/21-23)
  - ・ クリスマスプレゼント (過去の企画で制作した配布物) (12/23-25)
  - ・ お正月の先着プレゼント (オリジナルミニシール) 企画 (1/1-3)
  - ・ 世界湿地の日イベント「宍道湖バードウォッチング」(2/7)
- (2) ふるさと尺の内公園で自然観察会を実施した (5 回 ; 5-8, 2 月実施、4 月雨天中止)。
- (3) グリーンパークの野鳥観察舎で企画展「アリ入門」を開催した (7/15-8/31)。
- ・ 展示期間中に 2 回ミニ観察会を実施した (7/18, 8/8)。
  - ・ 展示期間中の応募による抽選プレゼントを実施し、その一つとしてオリジナル下敷き「身近なアリを見つけよう・いろいろなアリたち」を作成した。
- (4) グリーンパークの野鳥観察舎で宍道湖・中海ラムサール条約登録湿地 10 周年をテーマにした企画展「宍道湖グリーンパークから見た宍道湖は」を開催した (11/18-1/11)。
- ・ 展示期間中にひとことメッセージを募集し、参加者プレゼント (マグネットカード) を実施した。
  - ・ さらに応募による抽選プレゼントを実施した。
  - ・ 展示期間中の 11/29 に宍道湖バードウォッチングを実施した (午前・午後各 1 回)。
- (5) 野鳥観察舎に企画展がない時期にもコーナー展示として財団設立 25 周年や宍道湖・中海に対するひとことメッセージなどをテーマに、まとまった展示更新を実施した (5 回)。
- (6) 来園 40 万人達成の記念セレモニーを開催した (5/31)。
- (7) 宍道湖学習講座「自然と共生できる我が故郷の暮らしこそ最先端 (講師 : 錦織良成氏)」を開催した (6/6 ; 研究所実習室)。
- (8) ホシザキ野生生物研究所研究報告会を開催した (10/27, 11/1 ; 出雲市民会館)。
- (9) パークボランティア (17 名) を登録し、観察会の企画実施のほか、イベントや園内の作業補助などに関わった。
- (10) パークボランティア研修会を実施した (7/18, 12/6)。
- (11) グリーンパーク利用者 (主に団体) の申し込みに応じて観察プログラム等の対応をした (年間 43 回、のべ 1,555 人)。

- (12) 尺の内公園で地元小学校等の希望に応じて自然観察等の対応をした（年間2回、41人）。
- (13) 学校や地方公共団体等が主催する観察会や研修会等に講師を派遣した（年間5回）。
- (14) ニュースレター「HOWP」を発行（38-41号）し、自然情報等の発信に努めた。
- (15) パークボランティアの連絡誌を発行（20-22号）した。
- (16) 尺の内公園の観察会などで使用している小冊子「改訂版ふるさと尺の内公園 夏の昆虫観察ガイドブック」（34頁）を改訂した。
- (17) ホームページ（<http://www.green-f.or.jp>）を随時更新し、自然情報やイベントなどの情報発信を行った。

#### 6. 情報収集発信事業（定款第4条 第1項 第1、4、5号該当事業）

- (1) 文献、標本、写真、映像などの資料収集・整理につとめた。
  - ・文献は、購入363冊、寄贈・交換1,814冊、計2,178冊を取得した。
- (2) 鳥類等の観察情報について職員の記録や宍道湖グリーンパークに寄せられる情報をデータベースに入力した。

#### 7. 地方公共団体からの受託事業（定款第4条 第1項 1、3、4号該当事業）

- (1) 島根県立宍道湖自然館管理運営業務（指定管理、主管課：島根県水産課）  
宍道湖自然館ゴビウスの管理運営を行い、普及啓発や調査研究などの各種事業を実施した。  
詳細は別資料（宍道湖自然館館報 No. 14）。
- (2) 宍道湖公園利便施設管理業務（指定管理：出雲市）  
宍道湖公園利便施設多目的棟の管理業務を行った。
- (4) 出雲市自然環境調査研究業務（委託：出雲市）  
出雲市内（平田地域）のため池の水生動植物の調査を行ったほか、小冊子「平田地域のため池と自然」（31頁）を作成した。
- (5) 鳥類生息調査業務（委託：島根県森林整備課）  
宍道湖・中海など主要な渡来地でカモ科鳥類の個体数調査を実施した（10-3月に毎月1回）。

## II. 管理部門

### 1. 監査

平成 27 年 4 月 30 日に、高橋良昌監事、木幡均監事により平成 26 年度一般会計及び業務の監査を受け、会計および業務とも適正と認められた。

### 2. 理事会

平成 27 年 5 月 14 日 第 1 回理事会

- ・平成 26 年度の事業報告を承認
- ・平成 26 年度の決算報告を承認
- ・定時評議員会開催日時を承認

平成 27 年 5 月 29 日 第 2 回理事会

- ・議長、議事録署名人の選任について承認
- ・平成 26 年度の事業報告を承認
- ・平成 26 年度の決算報告を承認

平成 27 年 11 月 24 日 第 3 回理事会

- ・平成 27 年度冬期賞与の増額支給を承認
- ・評議員会開催日時を承認

平成 28 年 2 月 26 日 第 4 回理事会

- ・平成 27 年度収支予算の変更を承認
- ・平成 28 年度事業計画を承認
- ・平成 28 年度収支予算を承認
- ・評議員会開催及び開催日時について承認

平成 28 年 3 月 11 日 第 5 回理事会

- ・議長、議事録署名人の選任について承認
- ・平成 27 年度収支予算の変更を承認
- ・平成 28 年度事業計画を承認
- ・平成 28 年度収支予算を承認
- ・ホンザキ電機(株)第 70 期株主総会議案を承認

### 3. 評議員会

平成 27 年 4 月 24 日 第 1 回評議員会

- ・評議員の辞任を承認
- ・評議員の増員を承認
- ・評議員の補充選任を承認

平成 27 年 5 月 29 日 定時評議員会

- ・議長、議事録署名人の選任について承認
- ・平成 26 年度の事業報告を承認
- ・平成 26 年度の決算報告を承認

平成 27 年 12 月 4 日 第 3 回評議員会

- ・平成 27 年度冬期賞与の増額支給を承認

平成 28 年 3 月 11 日 第 4 回評議員会

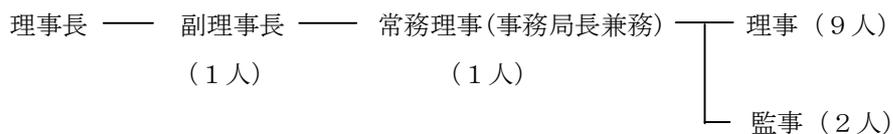
- ・議長、議事録書名人の選任について承認
- ・平成 27 年度収支予算の変更を承認
- ・平成 28 年度事業計画を承認
- ・平成 28 年度収支予算を承認
- ・ホシザキ電機(株)第 70 期株主総会議案を承認

### 【組織】

理事長以下理事 12 名、監事 2 名、評議員 7 名、職員 36 名で管理運営にあたった。

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

#### (1) 役員



#### (2) 評議員

評議員 (7人)

#### (3) 職員

